

教科シラバス(3年地歴科)

教科名	地理 歴史	科目名	地理A	学年	3年(理系習熟)	単位数	2
教科書と副教材		高等学校地理A、新詳高等地図					
1. 科目目標	現代世界の地理的な諸課題をその地域性や歴史的な背景、日常生活との関連を踏まえて考察する。そして、そのことによって現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会の中で主体的に生きる日本国民としての自覚や資質を養う。その土台として、自らの生活地域の地理的特性と課題を把握するための探究的な学習を行う。						
2. 学習方法	<p>(1) 授業の持ち物について:教科書、地図帳、ノート(科目毎に替えてください)</p> <p>(2) 予習の仕方について:前もって、次回授業の教科書 2 頁程度を読んでおきましょう。</p> <p>(3) 授業の受け方について <授業では、授業内容が「わかる」ことを心がけましょう。> ア 先生の説明をよく聞いて、最低限、板書を早くノートに正確に写すことを心がけましょう。 イ ノートは板書事項を写すだけではなくて、自分が大切だと思ったことは書き加えると良いでしょう。 ウ 学習内容について、常に「なぜ・どうして」といった疑問をもって考える姿勢で受けましょう。</p> <p>(4) 家庭学習の仕方について <家庭では、まわりの多くのことに目を向けましょう。> ア 授業で習った箇所の教科書を読み返してみましよう。あわせて、ノートを見直すことが大切です。 イ 授業中に疑問に思ったことなどは、自分なりに調べてみましょう。その際、インターネットなどを利用することは効果的です。 ウ 新聞・雑誌・TVのニュース等に関心を持ちましよう。その際、過去の出来事(歴史)との因果関係を調べると現代の出来事がよく理解できます。 エ 読書をしましよう。いろんなジャンルの本を読むことで新たな興味・関心がわいてくるかもしれません。 オ 各地の情報を扱った番組を積極的に活用しましよう。各地の地理的背景がよく理解できます。</p> <p>(5) 質問の仕方について 分からないことは遠慮なく担当の先生に尋ねましよう。授業時間内の質問でも、放課後等でも質問することは可能です。</p>						
3. 学習評価	学習評価は、定期考査・授業内小テストの成績・提出された課題(作業プリント)・学習態度等によって総合的に行います。						
4. 学習サポート	<p>(1) 定期的に行われるノート提出はとても大切です。その成績自体も評価の対象となりますし、定期考査に向けた学習にもなります。満点目指して取り組みましよう。</p> <p>(2) 地理Aの学習には近現代史をふまえた知識が大切です。また現代の出来事との関わりがかなり深いです。その点において、毎日の新聞やテレビなどのニュースに関心を持つことは、授業内容をより深く理解するためにとっても大切です。</p> <p>(3) 定期考査・小テストの内容は、教科書・資料集・授業ノートの中から出されることがほとんどです。毎日の授業が一番大切です。</p>						

